

期末の事業概況 (連結)

1. 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険引受収益が前連結会計年度に比べ 112 億円増加の 2,493 億円（うち正味収入保険料 2,482 億円）、資産運用収益が前連結会計年度に比べ 4 億円増加の 169 億円、その他経常収益が 2 億円となった結果、前連結会計年度に比べ 116 億円増加の 2,666 億円となりました。一方、経常費用は、保険引受費用が前連結会計年度に比べ 282 億円増加の 2,580 億円（うち正味支払保険金 1,839 億円）、資産運用費用が前連結会計年度に比べ 2 億円増加の 31 億円、営業費及び一般管理費が前連結会計年度に比べ 9 億円増加の 128 億円、その他経常費用が 29 百万円となった結果、前連結会計年度に比べ 289 億円増加の 2,740 億円となりました。

以上の結果、経常損益は、前連結会計年度に比べ 172 億円減少の 73 億円の損失となりました。経常損失に特別損益、法人税等合計を加減した親会社株主に帰属する当期純損益は、前連結会計年度に比べ 163 億円減少の 71 億円の損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 61 億円増加し 6,940 億円となりました。

また、当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ 206 億円減少し 1,799 億円となりました。

期末の事業概況 (単体)

1. 経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険引受収益が前期に比べ 67 億円増加の 1,961 億円（うち正味収入保険料 1,949 億円）、資産運用収益が前期に比べ 16 億円減少の 63 億円、その他経常収益が 2 億円となった結果、前期に比べ 50 億円増加の 2,026 億円となりました。一方、経常費用は、保険引受費用が前期に比べ 54 億円増加の 1,882 億円（うち正味支払保険金 1,438 億円）、資産運用費用が前期に比べ 8 百万円増加の 8 億円、営業費及び一般管理費が前期に比べ 11 億円増加の 94 億円、その他経常費用が 29 百万円となった結果、前期に比べ 60 億円増加の 1,986 億円となりました。

以上の結果、経常利益は、前期に比べ 10 億円減少の 40 億円となりました。経常利益に特別損益、法人税等合計を加減した当期純利益は、前期に比べ 33 億円減少の 16 億円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当期末の総資産は、前期末に比べ 149 億円増加し 5,054 億円となりました。

また、当期末の純資産は、前期末に比べ 13 億円減少し 1,275 億円となりました。